

保管用

よくお読みください

取扱説明書

たちあっぷ® つながるくん CKA-E60・CKA-E90
CKA-E120

たちあっぷを2台、または3台連結して移動補助手すりが構築でき、動線を確保することができます。

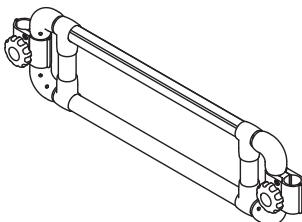
お買い上げありがとうございます

販売店様：この取扱説明書は必ずお客様にご説明の上、お渡しください。

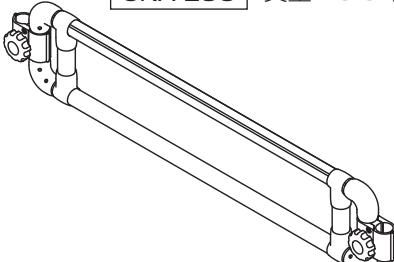
ご利用者様：使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

「たちあっぷ」の取扱説明書と合わせてご覧ください。

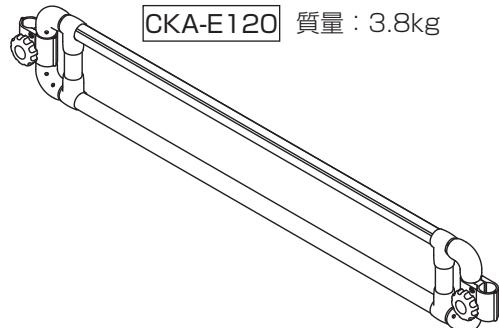
CKA-E60 質量：2.7kg



CKA-E90 質量：3.3kg



CKA-E120 質量：3.8kg



1. 構成部品

部品図	名称	材質	サイズ	数量
	つながる フレーム	パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ	フレーム 60：639×191×39mm	各1
		ジョイント：プラスチック、アルミ合金	フレーム 90：939×191×39mm フレーム 120：1239×191×39mm	
	連結金具	本体：アルミ合金	87×60×68mm	2
		ツマミ部：プラスチック、スチール		
		ねじ：ステンレス		

! 安全に関する表示

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

! 警告

誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。



してはいけない内容です。

! 注意

誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。



必ず守っていただく内容です。

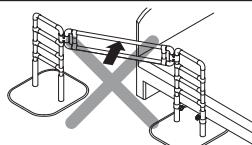
2. 使用上のご注意

! 警告

●歩行補助以外の目的で使用しない。
踏み台、いす、はしごなどの用途では使用しないでください。



●水平方向に力をかけない。
事故やケガの原因になります。
必ず手すりを持ち、床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。



●子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。
事故の原因になります。

●車いすからの立ち上がりに使用しない。
移乗の際に転倒するおそれがあります。

●濡れた手、脚で使用しない。
滑って転倒するおそれがあります。

●「つながるフレーム」が濡れた状態で使用しない。
転倒の原因になります。乾いた布で拭き取ってからご使用ください。

●手すりに力をかけた際、「たちあっぷ」のベースが持ち上がり、床面とのすき間が発生するような使用はしない。
事故の原因になります。すき間が発生した場合は、直ちに設置し直してください。

⚠ 警告

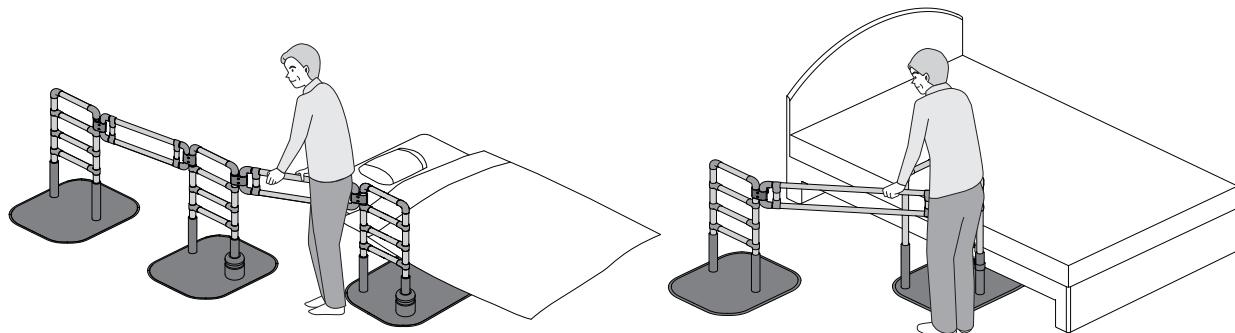
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。 利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によって生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。特にベッドの上で予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。 ※重度者（特に介護度4・5）の方が利用する場合は、十分モニタリング、フィッティングを行った上で使用してください。 また、ご使用に適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 固定式ではないため設置後の安定性、利用者の状態を確認の上、使用する。● 使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。 お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談することをお勧めします。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 2人以上同時に使用しない。 「つながるくん」は1人用です。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。 利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談してください。 ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。● 移動させる場合は、「連結金具」のツマミをゆるめ、「たちあっぷ」のベース部分を持ち上げて移動させる。 手すりを持ち上げますとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。 床面を傷つけない程度に数ミリ持ち上げてから移動してください。● 移動させる場合は、他の人が触れていないことを確認してから行う。 フレームとフレームのすき間に指をはさみ、ケガをするおそれがあります。● 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3. ご使用方法

- 直近の歩行補助としてご使用ください。
- つながるフレームを軽く持ちながら、つたい歩きをしてください。



4. 設置上のご注意

⚠ 警告

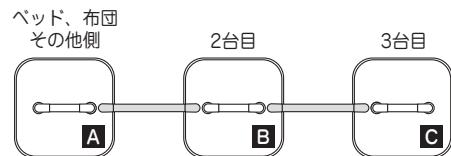
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 改造・加工は絶対に行わない。
	<ul style="list-style-type: none">● 設置後、ガタつき、ツマミ・ねじのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認する。
	<ul style="list-style-type: none">● 「つながるくん」は必ず両側に「たちあっぷ」を取り付けた状態で使用する。 片側だけに取り付けた状態では安全性が保てないおそれがあります。

⚠ 注意

禁止	<ul style="list-style-type: none"> 「つながるくん」で「たちあっぷ」を4台以上連結しない。 事故やケガの原因になるおそれがあります。 屋外や直射日光のあたる場所、火のそばでは使用しない。 金属部分が熱くなりやけどの原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。 水やお湯に濡れる場所では使用しない。 変質や破損するおそれがあります。 締付けトルク以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 「つながるくん」で連結する「たちあっぷ」は同一平面上に設置する。 段差のある場所や斜面には設置しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> 組み立ては納入業者が行う。 平らで水平な場所で使用する。 一般家庭の室内で使用する。 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管しますと、変形、結合部の外れの原因になります。 「たちあっぷ」をベッドサイドに置く場合は、ベッドの種類に制限があるので確認する。 詳しくは「たちあっぷ」の取扱説明書をご覧ください。 「ベットでとまるくん」は、「たちあっぷ」とベッドの間にすき間ができないように設置する。

5. 組み立てにあたって

- 連結仕様一覧表 (p.4 ~ p.5) と合わせてご確認ください。
- ベッド・布団・その他に設置した「たちあっぷ」からの連結を行う場合、
ベッド・布団・その他に設置した「たちあっぷ」を **A**、2台目に連結した
「たちあっぷ」を **B**、(3台目も連結した場合)3台目の「たちあっぷ」を **C**
とします。
- 「たちあっぷII」(CKA-22、CKA-23、CKA-24) 同士で連結を行う場合、「ベットでとまるくん」、「おもしくん」は必要ありません。

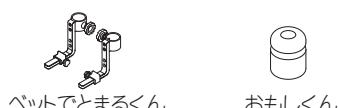


ベッドからの移動補助に使用する場合

【たちあっぷ2台を連結した場合】

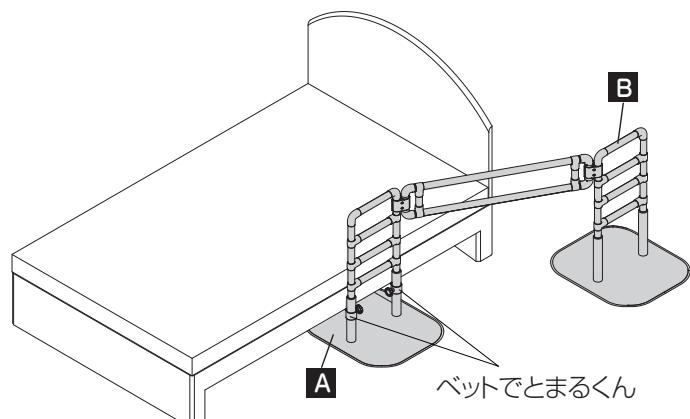
- A**には「ベットでとまるくん」の取付けが必要です。
この場合は**B**への「おもしくん」の取付けは不要です。
- 「ベットでとまるくん」が取付けできないベッドの場合
には、**A B**いずれかに「おもしくん」が必要です。

●「ベットでとまるくん」、「おもしくん」は、「たちあっぷ」の安定性を向上させるオプション部品です。



【たちあっぷ3台を連結した場合】

- A**には「ベットでとまるくん」の取付けが必要です。
この場合は**B**または**C**に「おもしくん」が必要です。
 - 「ベットでとまるくん」が取付けできないベッドの場合
は、**A B C**のいずれか2台に「おもしくん」が必要です。
※「おもしくん」は各ベースに取り付けてください。
- ※「たちあっぷII」(CKA-22、CKA-23、CKA-24) 同士で連結を行う場合、
「ベットでとまるくん」、「おもしくん」は必要ありません。



布団、その他からの移動補助に使用する場合

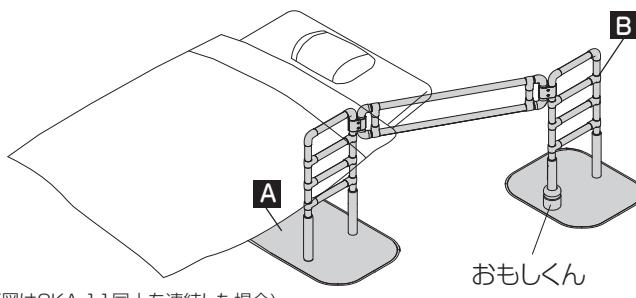
【たちあっぷ2台を連結した場合】

- A・B**のどちらかに「おもしくん」が必要です。

【たちあっぷ3台を連結した場合】

- A B C**のいずれか2台に「おもしくん」が必要です。

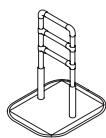
※「おもしくん」は各ベースに取り付けてください。
※「たちあっぷII」(CKA-22、CKA-23、CKA-24) 同士で連結を行う場合、
「おもしくん」は必要ありません。



(図はCKA-11 同士を連結した場合)

【たちあっぷ 連結仕様 一覧表】

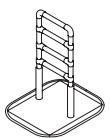
「つながるくん」、「ベットでとまるくん」、「おもしくん」を使用した、「たちあっぷ」の連結仕様を上面図で表した一覧表です。



CKA-01



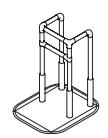
CKA-02



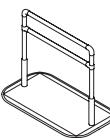
CKA-01-1



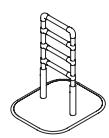
CKA-02-1



CKA-03



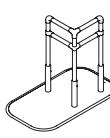
CKA-04



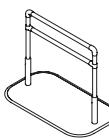
CKA-11



CKA-12



CKA-13

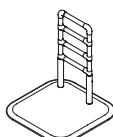


CKA-14

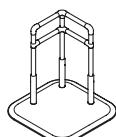
ベッドからの連結	ベッド側	たちあっぷ連結①	たちあっぷ連結②
	使用可能な「たちあっぷ」品番 CKA-01 CKA-11 CKA-02 CKA-12 CKA-01-1 CKA-13 CKA-02-1 CKA-14 CKA-03 CKA-04	使用可能な「たちあっぷ」品番 A側と同じ	
ベッド側	使用可能な「たちあっぷ」品番 CKA-01 CKA-11 CKA-02 CKA-12 CKA-01-1 CKA-13 CKA-02-1 CKA-14 CKA-03 CKA-04	たちあっぷ連結①	たちあっぷ連結②
	使用可能な「たちあっぷ」品番 CKA-01 CKA-04 CKA-02 CKA-11 CKA-01-1 CKA-12 CKA-02-1 CKA-14	使用可能な「たちあっぷ」品番 A側と同じ	
布団・その他からの連結	布団側、その他	たちあっぷ連結①	たちあっぷ連結②
	使用可能な「たちあっぷ」品番 CKA-01 CKA-11 CKA-02 CKA-12 CKA-01-1 CKA-13 CKA-02-1 CKA-14 CKA-03 CKA-04	使用可能な「たちあっぷ」品番 A側と同じ	
布団側、その他	使用可能な「たちあっぷ」品番 CKA-01 CKA-11 CKA-02 CKA-12 CKA-01-1 CKA-13 CKA-02-1 CKA-14 CKA-03 CKA-04	たちあっぷ連結①	たちあっぷ連結②
	使用可能な「たちあっぷ」品番 CKA-01 CKA-04 CKA-02 CKA-11 CKA-01-1 CKA-12 CKA-02-1 CKA-14	使用可能な「たちあっぷ」品番 A側と同じ	
		たちあっぷ	
		つながるくん	
		ベットでとまるくん	
		おもしくん	

【たちあっぷⅡ 連結仕様 一覧表

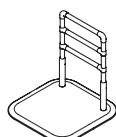
「伸縮つながるくん」を使用した、「たちあっぷⅡ」の連結仕様を上面図で表した一覧表です。



CKA-22



CKA-23

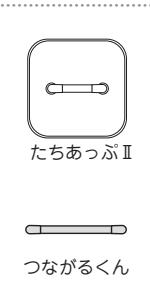


CKA-24

「たちあっぷⅡ」(CKA-22、CKA-23、CKA-24) 同士で連結を行う場合、「ベットでとまるくん」、「おもしくん」を使用しなくても安定性が得られるため、あえて使用する必要はありません。

「たちあっぷⅡ」(CKA-22、CKA-23、CKA-24) 同士の取り付け構成については下記を参考にしてください。

ベッドからの連結	ベッド側	たちあっぷ連結①
	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 CKA-22 CKA-23 CKA-24	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 A側と同じ
ベッド側	たちあっぷ連結①	たちあっぷ連結②
	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 CKA-22 CKA-23 CKA-24	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 A側と同じ
布団・その他からの連結	布団側、その他	たちあっぷ連結①
	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 CKA-22 CKA-23 CKA-24	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 A側と同じ
布団側、その他	たちあっぷ連結①	たちあっぷ連結②
	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 CKA-22 CKA-23 CKA-24	使用可能な「たちあっぷⅡ」品番 A側と同じ



6. 組立手順

- 組み立ては納入業者の方が行ってください。
- 六角レンチ(対辺5mm)は「たちあっぷ」に添付されているものをご使用ください。
- 使用する「たちあっぷ」は同じ高さに調整しておいてください。

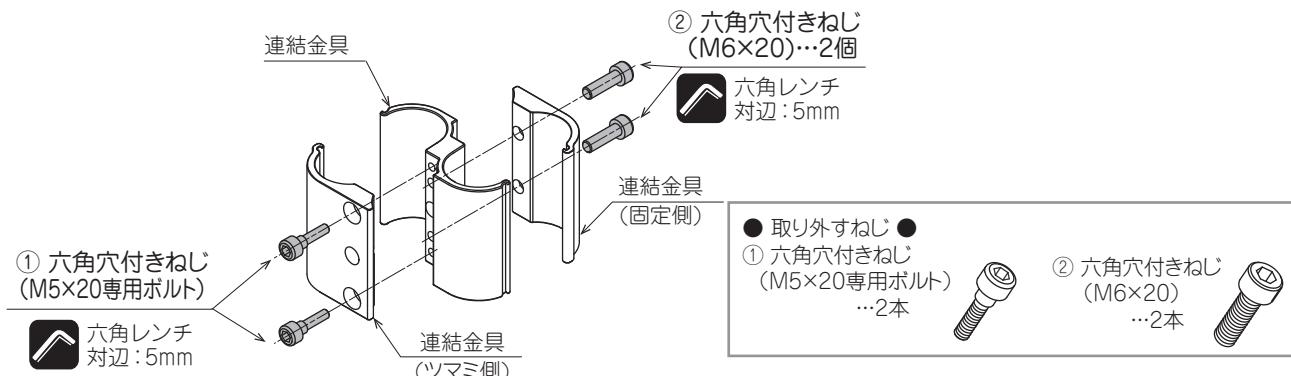
6-1. 「ベットでとまるくん」、または「おもしくん」の取付け

「たちあっぷ 連結仕様 一覧表 (P.4 ~ 5)」をご確認いただき、「ベットでとまるくん」、または「おもしくん」の取付指示がある連結をする場合は、先に取り付けてください。

取付方法については、「ベットでとまるくん」の取扱説明書、または「おもしくん」の取扱説明書をご覧ください。

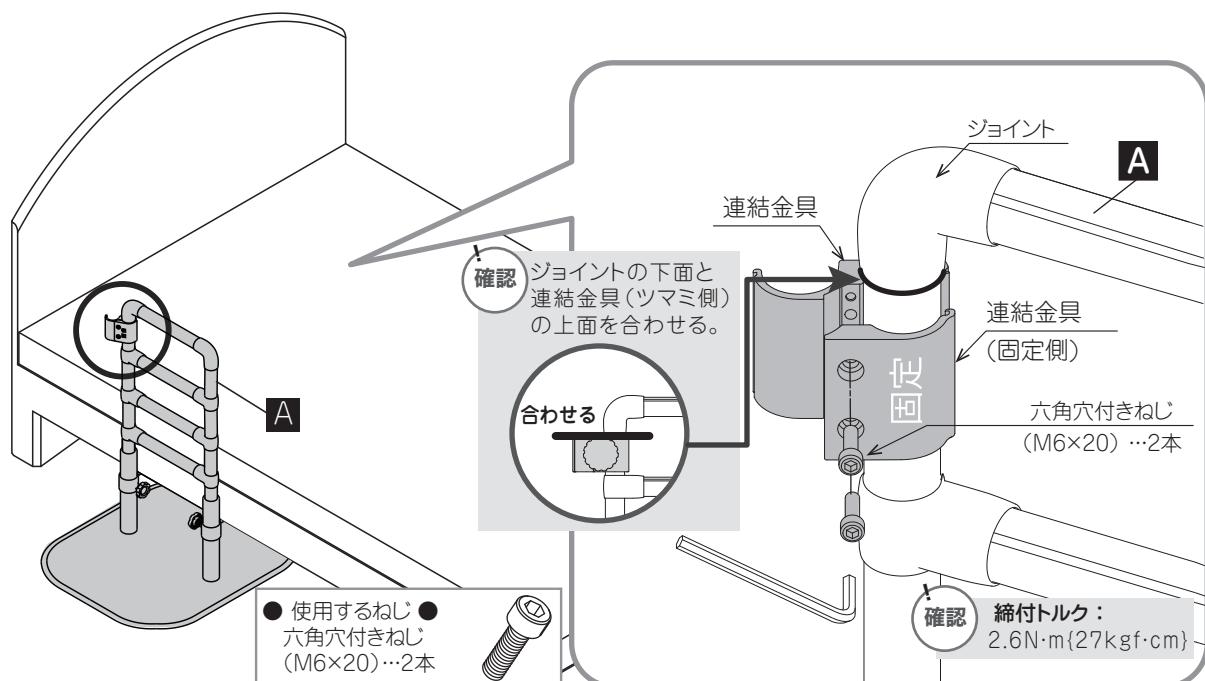
6-2. 連結金具のねじの取外し

- ①、②の六角穴付きねじ計4本を取り外してください。



6-3. 連結金具 (固定側) の取付け (1)

「たちあっぷ手すりフレーム A」に、連結金具と連結金具 (固定側) をねじで固定してください。



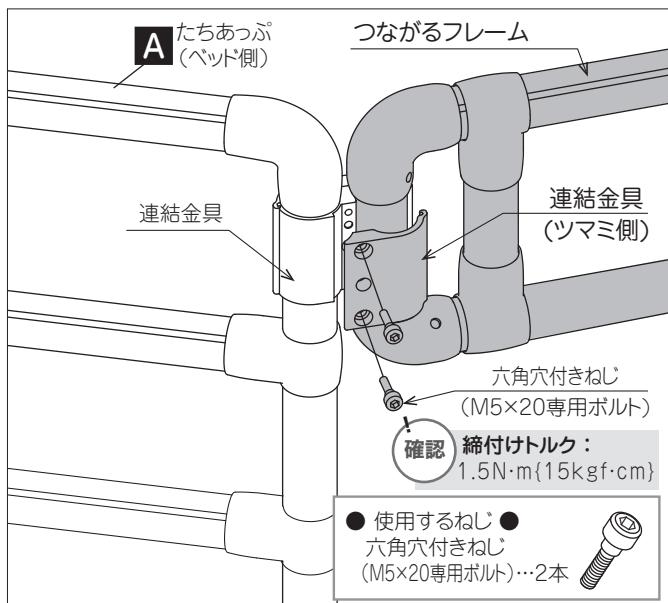
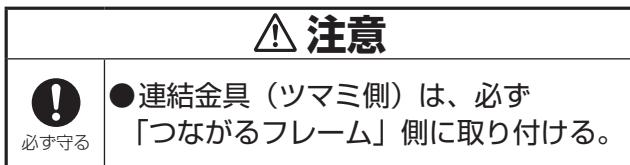
△ 注意

<p>必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none">●連結金具(固定側)は、必ず「たちあっぷ手すりフレーム」側に取り付ける。●連結金具はツマミが動線(利用者が通るところ)の逆側にくるように取り付ける。

6-4. 「つながるフレーム」の取り付け (1)

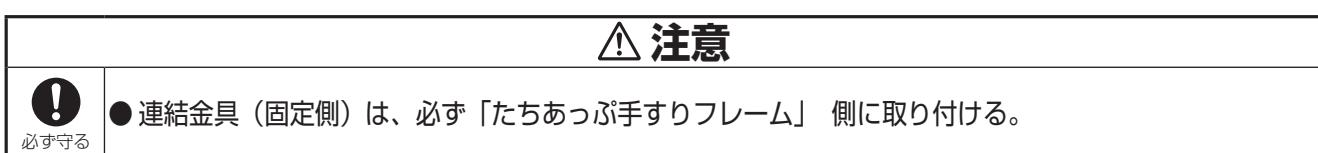
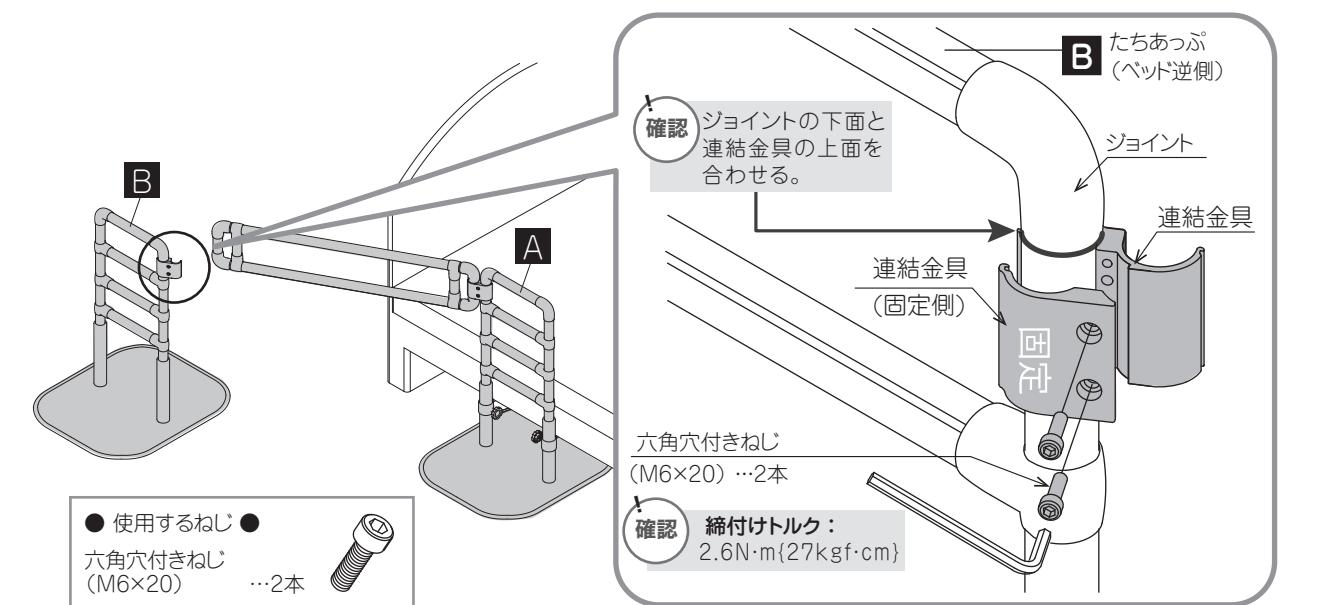
6-3に「つながるフレーム」と「連結金具(ツマミ側)」を右図の向きに取り付けてください。

※六角穴付きねじ(M5×20専用ボルト)を締め付けた時点では、「つながるフレーム」と連結金具は固定されません。
(パイプが動く状態です)



6-5. 連結金具(固定側)の取り付け (2)

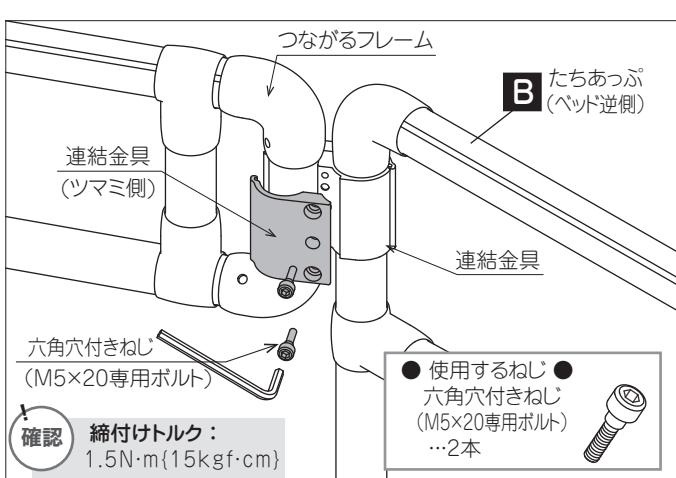
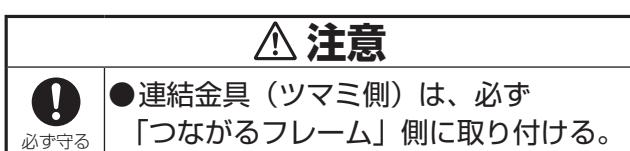
連結先の「たちあっぷ手すりフレームB」に、「連結金具」と「連結金具(固定側)」を取り付けてください。



6-6. 「つながるフレーム」の取り付け (2)

6-4で取り付けた「つながるフレーム」と、6-5で取り付けた「連結金具」を「連結金具(ツマミ側)」のねじで固定してください。

※六角穴付きねじ(M5×20専用ボルト)を締め付けた時点では、「つながるフレーム」と連結金具は固定されません。
(パイプが動く状態です)



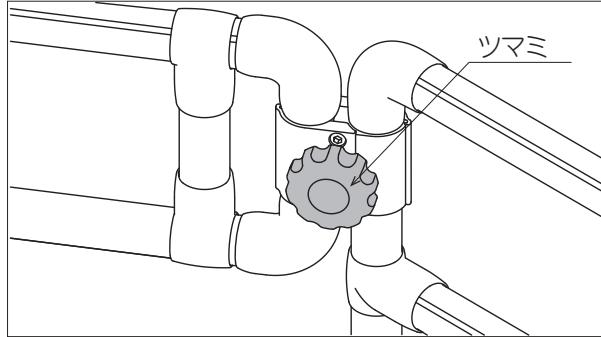
6-7. ツマミの取り付け

連結金具にツマミを取り付け、しっかりと締め付けてください。

⚠ 注意



- 連結金具は「つながるフレーム」を完全に固定するものではないので安全には十分配慮する。
必ずツマミをしっかりと締め付けてから、ご使用ください。



6-8. (たちあっぷを 3 台連結する場合) 3 台目の「たちあっぷ」の連結

6-1～6-7 の手順を繰り返し、3 台目の「たちあっぷ」**C** ともう 1 つの「つながるくん」を連結させてください。

6-9. 「つながるくん」の取付確認

⚠ 注意



- 組み立て後、ガタつき、ツマミ・ねじのゆるみ、締め忘れのないことを必ず確認する。

7. お手入れ方法

7-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布をかたくしぼって拭いてください。

⚠ 注意



禁止

- シンナー、ベンジンなどは使用しない。
変質して破損するおそれがあります。



必ず守る

- たわしや磨き粉などで磨かない。
傷つくおそれがあります。

必ず守る

- 直射日光は避けて、陰干しにする。

7-2. 点検

- 定期的に点検を行い、ガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れや 破損・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意



必ず守る

- 定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損・その他異常がないことを確認する。
異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

7-3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用してください。
(参考: 次亜塩素酸ナトリウム 6% 水溶液なら 120 倍～300 倍程度に希釈)

⚠ 注意



禁止

- オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。
変質して破損するおそれがあります。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒 422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
[kaigo-web](http://www.kaigo-web.info/)

<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北 海 道 支 店 福祉介護機器課
〒 072-0007 北海道美唄市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙 台 支 店 福祉介護機器課
〒 981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関 東 支 店 福祉介護機器課
〒 373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東 京 支 店 福祉介護機器課
〒 359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神 川 支 店 福祉介護機器課
〒 257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静 岡 支 店 福祉介護機器課
〒 422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護機器課
〒 484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大 阪 支 店 福祉介護機器課
〒 569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広 島 支 店 福祉介護機器課
〒 738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 高 松 支 店 福祉介護機器課
〒 761-8058 香川県高松市勤使町 227
TEL 087(866)6411 FAX 087(867)1916

■ 九 州 支 店 福祉介護機器課
〒 820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

09081902

DW-117-11